

Back to School チャレンジ!

[チャレンジ! コース]



◆ミッション1

学校が始まったら、クラスの友だちに英語で自己紹介しましょう。

次の5つの項目に気をつけて、どのようなことを、どのように話すか考えましょう。

My English Portfolio を参考に、「英語でどのようなことができるようになったか」を振り返りながら進めましょう。




1. あいさつを含めて、6つ以上の文で言えたら合格! [文の数]
2. クラスのみんなが、あなたの自己紹介をはっきりと聞き取れるように話そう。[話しかた]
3. クラスの友だちに分かりやすく伝えるために、表情やジェスチャーを工夫しよう。[伝えかた]
4. あなたのことを、クラスの友だちに覚えてもらえるように、内容を工夫しよう。[内容]
5. 単語を並べるのではなく、文の形で、クラスの友だちに伝わる英語で話そう。[英語の表現]

【自己紹介を練習する時に活用しよう!】

下の表(「ルーブリック」といいます)は、上の1~5の項目について、「どのようなことができる」と良いか」をまとめたものです。

「B」が「合格!」で、「C」が「もう少し頑張れる!」、そして「A」が「しっかり準備ができた!」ことを表します。

まず、すべての項目で「B」をクリアできるように努力しましょう。自分の得意な項目は「A」を目指しても良いですね。

	1. 文の数	2. 話しかた	3. 伝えかた	4. 内容	5. 英語の表現
A 	あいさつを含めて、7つ以上の文を言える。	相手にとても聞き取りやすい声の大きさや速さで、適切な間をあけて話している。	相手にとても伝わりやすいように、表情やジェスチャーなどを工夫して効果的に取り入れている。	相手に自分のことをはっきりと覚えてもらえるように、詳しい説明や理由などを2つ以上加えて話している。	文の形で、相手に内容がきちんと伝わる英語で話している。
B 	あいさつを含めて、6つの文を言える。	相手に聞き取りやすい声の大きさや速さで、適切な間をあけて話している。	相手に伝わりやすいように、表情やジェスチャーなどを工夫している。	相手に自分のことを覚えてもらえるように、詳しい説明や理由などを1つ加えて話している。	文の形で、相手に内容がほぼ伝わる英語で話している。
C 	あいさつを含めて、もっと自分のことについて伝えましょう。	相手に聞き取りやすいように、声の大きさや速さ、間などを調整してみましょう。	相手に伝わりやすいように、表情やジェスチャーなどをもっと工夫してみましょう。	相手に自分のことを覚えてもらえるように、詳しい説明や理由などを加えてみましょう。	単語だけでなく、まとまりのある英語の表現で言えるように練習しましょう。

さあ、どんな自己紹介をしますか? しっかり考えて、学校が始まるまで十分に練習しておきましょう!

Memo

Back to School チャレンジ!

[チャレンジ! コース]



◆ミッション2

クラスの友だちに英語で自己紹介したら、今度は「A. 中学校でやってみたいこと」と「B. 楽しい学校行事」について英語でスピーチしましょう。次の5つの項目に気をつけて、どのようなことを、どのように話すか考えましょう。My English Portfolio を参考に、「英語でどのようなことができるようになったか」を振り返りながら進めましょう。




1. あいさつを除き、6つ以上の文で言えたら合格! [文の数]
2. クラスのみんなが、あなたのスピーチをはっきりと聞き取れるように話そう。[話しかた]
3. クラスの友だちに分かりやすいスピーチするために、表情やジェスチャーを工夫しよう。[伝えかた]
4. 必ず A と B の両方について話し、かつそれぞれに理由を添えて、クラスの友だちに印象づけよう。[内容]
5. 単語を並べるのではなく、文の形で、クラスの友だちに伝わる英語で話そう。[英語の表現]

【自己紹介を練習する時に活用しよう!】

下の表(「ルーブリック」といいます)は、上の1~5の項目について、「どのようなことができる」と「良いか」をまとめたものです。

「B」が「合格!」で、「C」が「もう少し頑張れる!」、そして「A」が「しっかり準備ができた!」ことを表します。

まず、すべての項目で「B」をクリアできるように努力しましょう。自分の得意な項目は「A」を目指しても良いですね。

	1. 文の数	2. 話しかた	3. 伝えかた	4. 内容	5. 英語の表現
A 	あいさつを除き、7つ以上の文を言える。	相手にとても聞き取りやすい声の大きさや速さで、適切な間をあけて話している。	相手にとても伝わりやすいように、表情やジェスチャーなどを工夫して効果的に取り入れている。	A と B の両方について話し、かつそれぞれの理由が豊かに述べられており、印象的なスピーチである。	文の形で、相手に内容がきちんと伝わる英語で話している。
B 	あいさつを除き、6つの文を言える。	相手に聞き取りやすい声の大きさや速さで、適切な間をあけて話している。	相手に伝わりやすいように、表情やジェスチャーなどを工夫している。	A と B の両方について話し、かつそれぞれの理由を添えており、印象的なスピーチである。	文の形で、相手に内容がほぼ伝わる英語で話している。
C 	もっと A や B について自分の考えや気持ちを伝えよう。	相手に聞き取りやすいように、声の大きさや速さ、間などを調整してみましょう。	相手に伝わりやすいように、表情やジェスチャーなどをもっと工夫してみましょう。	A と B の両方について話し、それぞれの理由を添えて、もう一度スピーチを組み立ててみましょう。	単語だけでなく、まとまりのある英語の表現で言えるように練習しましょう。

さあ、どんな「中学校でこれをやってみたい!」スピーチをしますか? 学校が始まるまで十分に練習しておきましょう!

Memo